

20170122 「弟子の群れ」

目標：私たちは主イエスが身元に呼び寄せられた一人一人であり、そうされたのは、主と共におり、宣教に出、また悪を追い払う権威を行使するためであることを知る。

聖書箇所：マルコ3：13-19 時間：10分

暗誦聖句：「イエスは山に登り、みこころにかなった者たちを呼び寄せられたので、彼らはみもとに来た」（マルコによる福音書3：13）

道具：ホワイトボード、ペン

対象者：小6×1 小5×1 小3×3 小2×2 未就園児×4

留意点：暗誦聖句の箇所まで触れると分量が多すぎるので、イエス様はこうまで言われたことがある、と提示することと定める。また弟子の名前も同様の理由から、焦点化のため省略する。

段階	時間	教師から	子供に予想される反応	備考
課題確認	2分	<p>私たちが今教会にいるのは、自分の意志で来ていると思うかもしれませんが、そうではないよと聖書は言っています。 なんといつていると思いますか。</p> <p>イエス様がまず呼んで下さり、それにあなたが答えたからだと言えは言っておられます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・わからない 	<p>ここは意識を深めるために質問したい。 あまりにも身近な出来事のため、意識されにくいことなので、具体例を挙げ、理解させたい。 どんな人も、まず誰かか何かはその人を誘って、それに、本人が行ってみようと応答したのである。</p>
課題探究	6分	<p>イエス様は、私たちを呼び寄せたのは、いくつかの目的があるからだと言われました。今日はそれを学びたいと思います。 マルコ3章13-15節をみんなで読みましょう。</p> <p>最初に選ばれた12人は、ペテロさんたちのことで、それに私たちも続いているのです。</p> <p>まずイエス様は、私たちのことを御心にかなった人と見えています。ありがたいことですね。</p> <p>選ばれた理由が三つ示してあります。見つけられますか。</p> <p>イエス様が自分のそばにおいでくださったから、私たちの祈りは聞かれるし、イエス様の心もわかるようになるのです。</p> <p>宣教に遣わすというのは、イエス様と近いながら、イエス様をたくさんの人に伝えるということです。</p> <p>悪霊を追い出すとは、悪いことをするよう誘う力に打ち勝つということです。これは、世の中の人にはなかなかできないことですが、イエス様とともにいる人は、それができるのです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のそばに置くため ・宣教に遣わすため ・悪霊を追い出す権威を持たせるため 	<p>課題確認</p> <p>聖書を持っていない子にも、聖書を開かせ、読む操作を一緒に行う。 このことは、私達とは誰かを考える時の基礎であるので、議論ではなく提示をし、前提に据えて次の段階に進む。 実感のない者がほとんどであろう。それでいいと思う。 逆に選ばれたことが傲慢さにつながらないよう、選ばれたお互いを尊重する方向性を示したい。</p> <p>挙げられたものは板書し、共通理解とする。以下、意味を掘り下げる。</p> <p>他人と親・クラスメートの違いなどを例に出し、主との距離が、世の人と違って、とても近いことの利点をイメージさせる。 これは、しばしばCSでは言われてきたように思うので、今回は深く追わなくてもよいだろう。ただ、いあまで一人も教会に連れてきたことがないという生徒には、チャレンジとして提示し、励ましたい。 悪霊についてはあまり意識しないているか極端に意識しているかどちらかが、子供たちの現状だろう。しかし私たちは、主イエスとともに歩む中で、悪に打ち勝つ力を養われていることについてはもっと強調するべきである。社会運動よりも、学校のルールを破って遊びに行こうとした友達に、行かないようにさせたなどの例の方が、わかりやすくいいだろう。</p>
まとめ	2分	<p>イエス様と一緒にいると、悪に勝てるのです。教会に来ていない皆のお友達がそうなったら、本当に素晴らしいことだと思うのです。 暗誦聖句</p>		<p>188号のテーマからの反映。</p>